

# 2009年 第13回日本統合医療学会 (IMJ)

## 乳酸菌の混合培養による発酵産物「生源」の利用実態のアンケート調査結果

○関口守衛 1)、伊藤幸恵 2)、新 良一 2) 4)、三浦竜介 3)、4)

1) ドイツ文化会館・赤坂関口クリニック、2) (株)エイ・エル・エイ中央研究所、3) (株)シー・エム・シー、4) EB・CAM研究会

### 生源の有用性を知るための会員利用者へのアンケート調査

#### 【結果】

565名の解答あり。使用の内訳と頻度は①体質改善(85例；15%；以下例数、%略)②腫瘍・ポリープ60；11③骨関節症49；9④薬剤ことに抗がん剤副作用軽減44；8⑤肝炎41；7⑥脳神経系疾患32；6⑦高血圧・高脂血症32；6⑧アレルギー疾患25；5⑨糖尿病21；4⑩自己免疫疾患17；3、などであった。解答者自身の効用についての判断は改善59%例、不変25%例、判定不能15%例などであった。担当医に生源服用を申告していたのは全例の18%のみで、医師の治療方針に従いつつ生源を服用していた傾向が31%にみられ、医師・患者関係の保持を優先させていることが分かった。生源単独の効果を期待した例は90例(16%)あった

#### 【結論】

医師主導の治験によらねば真の評価は得られないと考え、その成果に期待するが、代替医療への医師啓蒙も必要である。